

1969年

- 林不二雄・小林 茂・大塚博正 (1969): ヤマメ増殖-VII ヤマメの連続採卵について. 群馬水試報告, (18): 80-83.
- 伊藤安男 (1969): 朱鞠内湖さくらます捕獲採卵試験. 魚と水, (4): 25-29.
- Ivankov, V. N. and V. L. Andreev (イワンコフ, V.N. ・アンドレエフ, V.L.) (1969): 太平洋サケ・マス(*Oncorhynchus* 属)の抱卵数. 魚類学諸問題, 9, 1(54), (ソ連北洋文献集, 92: 18-34)
- 木村清朗・塚原 博 (1969): 有明海で獲られたギンケヤマメについて. 魚類学雑誌, 16: 131-134.
- 木村喬久 (1969): 催熟蓄養中のサクラマスならびにカラフトマスに発生したせつそう病様疾病の原因菌に関する分類学的研究-I 原因菌の形態学的, 生化学的ならびに生物学的性状による分類上の位置. 魚病研究, 3(2): 34-44.
- 木村喬久 (1969): 催熟蓄養中のサクラマスならびにカラフトマスに発生したせつそう病様疾病の原因菌に関する分類学的研究-II 血清学的性状を基礎とした分類学的研究. 魚病研究, 3(2): 45-52.
- 小坂 淳・石田昭夫 (1969): 小川におけるサクラマス *Oncorhynchus masou* 幼魚の生態に関する一知見. 北大水産彙報, 20(2): 65-74.
- 長内 稔・大塚三津男 (1969): サクラマスの生態に関する研究 2. 生殖巣の発達に伴う溯河, 産卵行動について. 道立水産孵化場研報, (24): 45-53.
- 佐野誠三 (1969): 北海道河川溯上マス調査記録. さけ・ますふ化場研報, (23): 29-44.
- 佐野誠三・尾崎豈志 (1969): サクラマス(*Oncorhynchus masou* Brevoort)の生態研究(人工飼育及び標識放流). さけ・ますふ化場研報, (23): 1-8.
- 徳井利信 (1969): カナダへ移殖したサクラマス. 魚と卵, (130): 3-7.

1968年

- 阿刀田光紹 (1968): 池中養殖ヤマメの生殖腺成熟過程について. 魚と水, (3): 29-33.
- 井上 聡・石城謙吉 (1968): 冬期の河川におけるヤマメの生態. 陸水誌, 29: 27-36.
- 川嶋和雄・鈴木 亮 (1968): 日本産サケ属 2, 3 種における鱗相の比較研究. 淡水区水産研究所研報, 18(1): 49-59.
- 佐野誠三 (1968): 良留石(ラルイシ)山の河川型サクラマスの記録. 魚と卵, (128): 28-29.

1967年

- Atkinson, C. E., S-K. Chun, E. R. Jeffries, J-D. Kim, K-Y. Kim, K-H. Kim, and R. N. Pressey (1967): A survey of the salmon and trout resources of the Republic of Korea. (韓国におけるサケ・マス資源概論). (和訳:39pp,日本鮭鱒資源保護協会)
- Fukataki, H. (1967): Notes on migration of the masu salmon, *Oncorhynchus masou* (Brevoort), in the Japan Sea as determined by tagging. (標識放流試験結果からみた日本海におけるサクラマスの回遊). 日本海区水研研報, (18): 1-11.(英文)

石田昭夫 (1967): 小川のヤマベ(*Oncorhynchus masou*)の分布移動および生息数についての一観察. 北水研研報, 33(1): 1-8.

長内 稔・大塚三津男 (1967): サクラマス生態に関する研究 I. 遡河サクラマスの形態と産卵生態について. 道立水産孵化場研報, (22): 17-32.

佐野誠三・阿部進一 (1967): サクラマス(*Oncorhynchus masou*)の生態研究. 釧路沿岸回遊幼魚について. さけ・ますふ化場研報, (21): 1-10.

Yamanaka, H., K. Yamaguchi, K. Hashimoto, and F. Matsuura (1967): Starch-gel electrophoresis of fish hemoglobins - III. Salmonid fishes. (魚類のヘモグロビンの澱粉ゲル電気泳動的研究-III. サケ科魚類). 日本水産学会誌, 33(3): 195-203. (英文)

1966 年

粟倉輝彦 (1966): 養殖ヤマベに寄生した単生吸虫類について. 魚病研究, 1(1): 2-4.

久保達郎 (1966): サクラマス幼魚の変態期におけるウロコの成長型について. さけ・ますふ化場研報, (20): 11-20.

長内 稔 (1966): 人工湖の放流適種と考えられるサクラマス及びワカサギについて. 魚と卵, (116): 7-12.

清水進一・原 武史・斉藤 実 (1966): ヤマメの増殖-I 奥多摩分場における飼育経過. 水産増殖, 14(1): 17-22.

辻 啓 (1966): 桜鱒とヤマベの交配試験について. 魚と卵, (116): 4-6.

1965 年

半田芳男 (1965): サクラマスとヤマベの差異論争の回顧. 魚と卵, 112: 3-5.

平田純正・小林明弘 (1965): 天塩川に遡上するサクラマスの成熟と蓄養に関する知見. 魚と卵, (113): 7-11.

久保達郎 (1965): サクラマスの幼魚の変態に及ぼす高水温の影響. さけ・ますふ化場研報, (19): 25-32.

1964 年

Kanidief, A. N. (カニディエフ, A. N.) (1964): シーマ(*Oncorhynchus masu* (Brevoort))の産卵および卵の発生の条件. (日本語訳; ソ連北洋文献集, 61: 36-42)

加藤文男 (1964): 高倉川のヤマメとイワナ. 福井県博物同好会会報, 11: 7-10.

佐野誠三 (1964): 渚滑川のマスについて. 魚と卵, (106): 1-7.

佐野誠三 (1964): サクラマスの生態と繁殖保護. 魚と卵, (104): 1-7.

Vorobin, S. P. (ボロビン, S. P.) (1964): 樺太の河川におけるシーマ(サクラマス)稚魚とその他のサケ・マス稚魚との餌料関係について. (日本語訳; 魚と卵, (128): 30-42)

1963 年

Smirnof, A. I. (スミルノフ, A. I.) (1963): 太平洋産サケ・マス類の精液分泌. 魚学諸問題, 第3巻第1(26)号, (ソ連北洋文献集, 54: 5-30)

田中昌一 (1963): さくらますに関する生物学的知見. 北太平洋漁業国際委員会研報, (16): 67-111.

Volovik, S. P. (ボロヴィク, S. P.) (1963): カラフトの若干の河川におけるシーマ(*Oncorhynchus masu* (Brevoort))の幼魚の生態に関する資料. (日本語訳; ソ連北洋文献集, 57: 57-69)

1962 年

Behnke, R. J., T-P. Koh, and P. R. Needham (1962): Status of the landlocked salmonid fishes of Formosa with a review of *Oncorhynchus masou* (Brevoort). (サクラマスのレビューによる台湾の陸封型サケ科魚類の位置). *Copeia*, 1962(2): 400-407.(英文)

Krihtin, M. L. (クリフチン, エム・エリ) (1962): シーマの河川生活期に関する資料. TINRO 研報, (48), (日本語訳; ソ連北洋文献集, 77: 1-68)

長内 稔 (1962): 陸封型サクラマスの生態調査. I. 雨竜人工湖の湖況の変遷と湖産サクラマスの食性について. 道立水産孵化場研報, (17): 21-29.

Smirnof, A. I. (スミルノフ, A. I.) (1962): シーマ *Oncorhynchus masu* (Brevoort) の繁殖の生態. (日本語訳; ソ連北洋文献集, 64: 54-60)

徳井利信 (1962): 十和田湖の湖水型サクラマス(*Oncorhynchus masou*)について. 水産増殖, 10(2): 133-136.

1961 年

久保達郎 (1961): 河川浜上期に於けるサクラマス(*Oncorhynchus masou*)の血液性状, 特に浸透圧濃度の季節的变化について. 北大水産彙報, 12(3): 189-195.

寺尾俊郎・林中信男 (1961): サケ・マス属魚類の交雑試験について I. 道水産孵化場研報, 16: 51-62. #4450

1960 年

久保達郎 (1960): 沿岸回遊時に於けるサクラマスの血液性状の季節的变化. 特に浸透圧濃度について. 北大水産彙報, 11(1): 15-19.

1959 年

Behnke, R. J. (1959): A note on *Oncorhynchus formosanus* and *Oncorhynchus masou*. (台湾マスとサクラマスに関する記録). 魚類学雑誌, 7: 151-152. (英文)

五十嵐 清 (1959): 鱗相から見た宅良川のヤマメとアマゴについて. 福井県博物同好会会報, 6: 6-9.

木村清朗 (1959): 祖母, 傾山群のエノハ. 「祖母大崩山群」(加藤・立石編), しんつくし山岳会

久保達郎 (1959): サクラマスの幼魚の変態に及ぼす環境要因の影響について(予報). さけ・ますふ化場研報, (14): 15-19.

大島正満 (1959): 天竜川上流三峰川で採捕されたアマゴとヤマメとの間種. 動物学雑誌, 68(7): (淡水魚別冊大島正満サケ科魚類論集再録(1981): 156-159)

小野寺好之・児玉康雄・田中 光・上野達治 (1959): 河川における養殖マス類の混合放流に関する研究-II 実験第2年目の諸相について. 淡水区研究所委託研究報告(1958年度)

佐野誠三 (1959): 北日本産サケ属の生態と蕃殖について. さけ・ますふ化場研報, (14): 21-90.

鄧火土 (1959): 台湾高地産陸封鮭魚的形態與生態. 台湾省水試試験報告, (5): 77-76. (中国語)

山本喜一郎・甲斐久行・石田カー (1959): マス(*Oncorhynchus masou*)の卵形成について(予報). 北水研研報, 20:

109-117.

1958 年

岡田 雋・井上 聡 (1958): 糠平人造湖の魚類. I. 陸封型マス及びヤマベ. 帯広畜産大糠平生物研究所研報, (2): 1-13.

1957 年

Karmikowa, M. S. (カルミンコーワ, M. S.) (1957): サクラマスの食性並びに幾つかの生物学的特徴. (日本語訳; 魚と水, (22): 50-51)

大島正満 (1957): 酒匂川に棲息する河川型鱒類に就て. 横須賀市博物館研報, (2). (淡水魚別冊大島正満サケ科魚類論集再録(1981))

大島正満 (1957): 九州に於けるヤマメとアマゴの分布. 動物学雑誌, 66(1). (淡水魚別冊大島正満サケ科魚類論集再録(1981))

大島正満 (1957): 台湾鱒に関する研究. 桜鱒と琵琶鱒の研究, 25-38. 楡書房.

1956 年

Dvinin, B. A. (ドヴィニン, B. A.) (1956): カラフト産シーマ(サクラマス)について. (日本語訳; ソ連北洋文献集, 33: 25-28)

疋田裕雍 (1956): 北海道沿岸及び河川で捕られる太平洋鮭鱒類. 孵化場試験報告, (11): 25-44.

北海道立水産試験場・北海道区水産研究所 (1956): 日本海マスに関する調査. 北海道区資源調査要報, 13: 185-232.

久保達郎 (1956): サクラマスの幼魚の変態と成長に及ぼす光の影響. 孵化場試験報告, (11): 19-23.

Semko, R. S. (セムコ, エル. エス.) (1956): 西カム産シヨマ(*Oncorhynchus masou*) についての新資料. 動物学雑誌 35(7)(ソ連北洋文献集, 3: 33-40)

1955 年

Kobayashi, S. (1955): Changes in catalase activity of the tissues and blood of "masu", *Oncorhynchus masou*, when transferred from fresh-water to sea water. (淡水から海水へ移行したサクラマスの組織と血液におけるカタラーゼ活性の変化). 北大水産彙報, 6(1): 1-6. (英文)

久保達郎 (1955): サクラマス(*Oncorhynchus masou*) の smolt の降海途中に於ける血液性状の変化. 北大水産彙報, 6(3): 201-207.

1954 年

Kobayashi, S. and R. Yuki (1954): Differences in catalase activity in the tissues and blood between the smolt and parr of masu, *Oncorhynchus masou*. (サクラマスのスモルトとパーによる組織と血中のカタラーゼ活性の違い). 北大水産彙報, 5(3): 223-230. (英文)

久保達郎 (1954): サクラマス(*Oncorhynchus masou*) の変態と血液中の二三の窒素化合物. 北大水産彙報, 5(3): 248-252.

Kuznetzova, A. F. (クズネツォワ, A. F.) (1954): マス幼魚の生物学的資料若干. (日本語訳; ソ連北洋文献集, 41:

158-165)

1953 年

Birman, I. B. (ビルマン, イ. ペ.) (1953): 淡水性の度合いに関連する溯河性サケ科の数量とその溯河性生活様式の発生. (日本語訳; ソ連北洋文献集, 36:43-59)

疋田豊彦 (1953): 北海道における人工孵化鮭鱒族の稚魚に就いて. 特に鮭鱒類稚魚の区別について. 孵化場試験報告, 8(1,2): 11-20.

久保達郎 (1953): 日本産サケマス類の回遊時における血液について 第1報 血液の水点降下度. 北大水産彙報, 4(2): 138-149.

西田秀夫 (1953): ヤマベとギンケヤマベの鰓上皮の細胞組織学的比較. 孵化場試験報告, 8(1,2): 33-38.

西田秀夫・佐野誠三 (1953): ヤマベのクロライドセルとゴルジ物質. 科学, 23(11): 584-585.

西野一彦 (1953): 鮭鱒親魚蓄養中に発生する病気の細菌学的研究(第1報). 孵化場試験報告, 8(1,2): 47-58.

1952 年

今田光夫・大宅伊佐人・丹羽和美 (1952): サクラマス的一本釣. 北水試月報, 9(5): 10-16.

1951 年

佐野誠三 (1951): 櫻鱒の鱗相. 鮭鱒彙報, (52): 1-4.

1950 年

佐野誠三 (1950): さくらまスの生活. 魚と卵, 2 (1950年2月号): 15-22.

1949 年

石川 博・橋本武三郎・高橋嘉夫 (1949): 鮭脳下垂体に依る櫻鱒産卵促進に就いて. 孵化場試験報告, 4(1): 30-32.

1947 年

佐野誠三 (1947): 櫻鱒絶食期間中に於ける変化. 鮭鱒彙報, (44): 9-14.

1946 年

五十嵐眞一 (1946): 櫻鱒の蓄養催熟. 孵化場試験報告, 1(1): 13-18.

久保達郎 (1946): 各種河川魚の鮭鱒稚魚食害に就て. 水産孵化場試験報告, 1(1): 51-55.

1944 年

畑 久三・中村一雄 (1944): 鱒稚魚の食餌に就て. 水産学雑誌, (52): 31-34.

1942 年

吉田 裕 (1942): 北鮮の海に産する鱒. 水産研究誌, 37(9): 152-156.

1939 年

田中林蔵 (1939): 乳酸及び重曹が鱒類の仔魚の性比に及ぼす影響に就て. 日本水産学会誌, 7(6): 345-357.

1938 年

半田芳男 (1938): 北海道に於ける鮭鱒孵化事業. 陸水学雑誌, 8(3,4): 505-512.

吉田 裕 (1938): 朝鮮に於ける鮭鱒の分布に就て. 鮭鱒彙報, (37): 4-7.

1937 年

川上四郎 (1937): 所謂銀毛ヤマメの食餌に就て. 養殖会誌, 7(1): 6-9.

岡田 雋・桜井基博 (1937): 櫻鱒の鱗に見出された第二冬季帯不形成の数例. 鮭鱒彙報, (34): 19-25.

1936 年

福井玉夫・森下哲夫 (1936): 日本産鉤頭虫類の数種に就て. 動物学雑誌, 48(8-10): 759-764.

早栗 操 (1936): 鱒の生態に就て. 養殖会誌, 6(2): 35-40.

大島正満 (1936): サクラマスとピワマスの学名について. 鮭鱒彙報, (29). (淡水魚別冊大島正満サケ科魚類論集再録(1981))

大島正満 (1936): 大甲溪のマスに関する生態学的研究. 植物及動物, 4(2), (淡水魚別冊大島正満サケ科魚類論集再録(1981))

1935 年

海老名謙一 (1935): 鱒・館山湾で漁獲さる. 養殖会誌, 5(9,10): 166-167.

加藤精一 (1935): 阿賀野川鹿瀬魚梯に就て. 陸水学雑誌, 5(2): 37-45.

1934 年

松原喜代松 (1934): 熊本県沖合にて漁獲されし鱒に就て. 養殖会誌, 4(6): 114-117.

1933 年

大野磯吉 (1933): 北海道産サクラマスの生活史. 鮭鱒彙報, 5(2): 13-25.

1932 年

半田芳男 (1932): 鮭鱒各論「鱒」. 「鮭鱒人工蕃殖論」, 42-50. 北海道鮭鱒孵化事業協会.

大野磯吉・安藤壽三郎 (1932): 洞爺湖産のマスに就て. 鮭鱒彙報, 4(1): 5-9.

田内森三郎・三善清旭 (1932): 魚梯に於ける魚類の溯上率. 日本水産学会誌, 1(1): 18-24.

1931 年

大野磯吉・安藤壽三郎 (1931): 大島博士の「ヤマメ及びアマゴの分布境界線に就て」を読み. 鮭鱒彙報, 3(5): 4-9.

大島正満 (1931): ヤマメおよびアマゴの分布境界線について. 地理学評論, 5(7). (淡水魚別冊大島正満サケ科魚類論集再録(1981))

田中茂穂 (1931): 資料 鮭鱒に就いて. 動物学雑誌, 43: 7-12. #4142

1930 年

江口季雄 (1930): 「鱒と条虫」に就て. 鮭鱒彙報, 2(2): 1-5.

大野磯吉 (1930): 「やまべ」の季節に依る雌雄出現の体長変化に就て. 鮭鱒彙報, 2(5): 9-11.

1929 年

大島正満 (1929): ヤマメ・アマゴの系統と生活史に関する 2, 3 の知見. 自然科学, 4(1). (淡水魚別冊大島正満サケ科魚類論集再録(1982))

1919 年

大島正満 (1919): 台湾に産するマスの 1 新種について. 台湾農事報, (151). (淡水魚別冊大島正満サケ科魚類論集再録(1981))